

安全衛生への取り組み

危険

弊社は普段より展示会場、イベント会場、美・博物館の屋内作業みならず屋外での作業（イルミネーション工事等）、加えて高所の作業を行っており、常に危険と隣り合わせの作業環境と言っても過言では有りません。

電気

昔は電気自体を危険視する事が多く、感電や落雷と言った「死」を直接連想させる事故や災害が多く発生していました。増してやその電気を扱う仕事に従事していた電気工事士に置ける危険度は察するに余有ります。

しかし、時間の経過と共に技術、情報、道具、設備等の発達に寄り現在は「危険」をより知る事により「安全」を確保出来るようになりました。

弊社での安全への取り組み（安全の確保）

1. 作業に伴う資格・免許・講習等の取得、受講
1. 作業場、作業内容の徹底的な習知により K.Y（危険予知）行動を行う
1. 災害等の発生時の行動確認
- 1.K.Yにより、より適切な道具、行程を熟考しそれを確実に実行する
1. 施行中の安全衛生の点検
1. 施工後の安全衛生の実施達成度の報告、反省

以上の事をより正確な知識の元、より確実に実行するため弊社では**全員に職長・安全衛生責任者教育**を行っております。

災害・事故

「ハインリッヒの法則」にもあるように、重大災害・事故は日々の作業の中に潜んでおり、それを出来るだけ取り除くことが重要であり先決です。しかし事故、災害は想定をしなくてはなりません。起こる事を前提に行動するのではなく起きた場合を想定し、それに備える事が重要と考えます。

弊社の作業員も社員のみならず、社外の方々も多数関わっております。また現場に於きましては他業者、出展者、来場者等の方々と密接な距離と関係の中作業を行っております。ひと度事故・災害となれば多方面への保証を求められる状況下での日々であります。

これを踏まえ、弊社では**各種保険**への加入は勿論のこと保険内容の見直し、拡充を毎年行っております。

安全

安全に完全、完璧はありません。日々の危険への意識と安全への努力によって継続されるものであることは疑う余地もありません。

弊社は常にその意識と努力を持ち続ける事を誓い、そして全ての**事故・災害が0**になる様心より祈っております。